

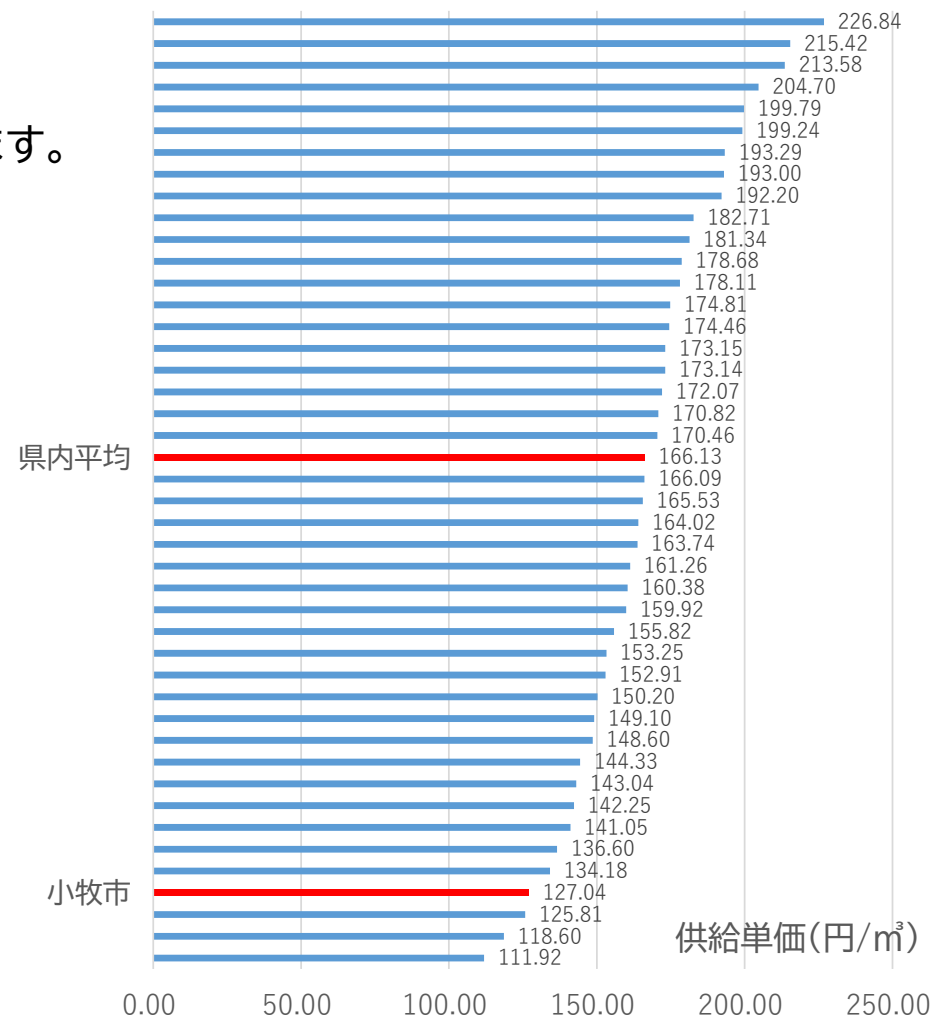
3. 検討資料

資料 2

3.1 供給単価の比較

愛知県内の水道事業体43団体と供給単価を比較します。

- 43団体の内、38団体で令和5年度以降に料金改定を実施または改定を検討しています。
- 小牧市の供給単価は、令和7年度決算見込みの数値を示しています。
- 他団体の供給単価は、令和6年度の供給単価をベースに改定率が判明しているものは改定率を掛けて改定後の供給単価を見込みとして計算します。

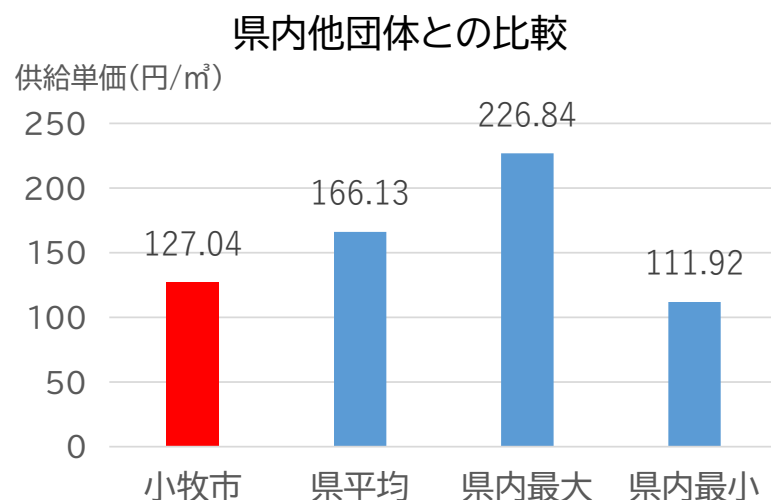


3. 検討資料

3.1 供給単価の比較

県内事業体では算定期間(3年～5年)後に内部留保の目標額を確保するために不足する分を確保するための改定率を算出しているケースが多いですが、小牧市は施設整備計画をもとに20年間で必要な更新費を見込んで改定率を算出しているため、小牧市の改定後の供給単価は比較的高い水準になっています。

水道法施行規則の改定により、水道料金は3年から5年ごとの適正な時期に見直しを行うこととされており、他の事業体もゆくゆくは小牧市の改定後の供給単価と同程度の水準になると見込まれます。



各改定率の比較

改定前	改定1回目		改定2回目	
供給単価 (円/㎥)	改定率	供給単価 (円/㎥)	改定率	供給単価 (円/㎥)
127.04	75.6%	223.08	—	223.08
	40%	177.86	29.6%	230.51
	35%	171.50	35.2%	231.87
	30%	165.15	41.2%	233.19
	25%	158.80	47.7%	234.55

3. 検討資料

3.2 他団体の改定状況①

県内のX市(給水人口 約13万人)では、小牧市と同様に、**管路更新率1%**を目標に改定率を決定しています。

X市の料金改定

◎改定前の状況 供給単価 145.07円(R6決算)

 管路更新率 0.64%(R1～R5平均)

◎管路更新率 1%を達成するためには **改定率 42.57%** の改定が必要

◎2回に分けて改定 1回目 **令和 8年4月 改定率 約25%**

 2回目 **令和10年4月 改定率 約17%(残り)**

 (改定後の供給単価見込み 206.83円)

※小牧市は現在の供給単価 127.04円、管路更新率 0.51%であることから、管路更新率1%の目標達成のためにはX市と同等以上の料金改定が必要なが想定されます。

3. 検討資料

3.2 他団体の改定状況②

県内のY市(給水人口 約38万人)では、**100年規模の水道施設更新計画**を策定した結果、更新費用が現況の2倍程度に膨らむ見込みになりました。そこで、18年間の**長期的な収支見通しのもと、算定期間4年間で段階的に改定**することとしています。

Y市の料金改定

◎1年間の水道施設更新費用	これまで(過去10年の平均)	27.0億円
	これから(施設更新計画)	42.9億円(+15.9億円)

◎R24まで内部留保資金残高50億円以上を目標に段階的に改定

R7 改定率 **9.7%** R11 改定率 **16.0%** R15 改定率 **10.1%** R19 改定なし

◎R6供給単価 155.39円 × 累計更新率 40.1% = 供給単価見込み 217.7円